

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成22年9月7日(火) 本社会議室		
委員	波光 巖(大学教授) 矢橋晨吾(大学名誉教授) 西谷隆巨(大学名誉教授) 田中俊充(弁護士) 角田 茂(学校法人参事)		
審議対象期間	平成22年4月1日~平成22年6月30日		
抽出案件	総件数	5	件 (備考)
工事	一般競争	1	件
	公募型指名競争	0	件
	通常指名競争	0	件
	随意契約	1	件
建設コンサルト	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	0	件
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0	件
	標準プロポーザル	0	件
	一般競争	0	件
	通常指名競争	2	件
	随意契約(競争性のある)	0	件
	随意契約(特命随意契約)	0	件
	補償契約	1	件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	1. 一般競争入札(工事)		
	【大山ダム管理所新築工事】		
	・低入札調査を受けた場合、契約保証金とか前払金はペナルティーとなるのか。	・そのとおりです。実際に契約しています。	
	2. 随意契約(工事)		
	【日吉ダム選択取水設備応急復旧工事】		
	・故障して修理するとしたら、製造会社に頼むほかないため、随意契約にならざるを得ないし、緊急となり金額がかさんでもやざるを得ないということになる可能性が高いので、もう少し余裕をもってできないのか。	・ストックマネジメントの視点から、その施設の重要度、また第三者に与える影響を加味しながら、万が一のことがあってはならないものについては予防保全をしていますし、万が一故障が発生しても別の方法で対処できるものについては、耐用年数が過ぎても点検を行い様子を見ながら使っています。今回のようなトラブルが発生した場合には、緊急的随意契約で行い、できるだけ機器の寿命を使っていくという形で対処しているところです。	

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

	3. 指名競争入札（建設コンサルタント業務等）	
	【ダム施設等の弾力的な運用のための現況把握調査業務】	
	・入札金額に1,000万円差が出ているが、調査という業務を考えた場合に、こんな差が出るのは当たり前のことなのか。	・調査につきましては、水質調査とか単価がほぼ出ているような場合、業者が努力して取りたいというときは安く入ることはありますが、今回のような生物の調査になりますと、どこまで調査するかのとらえ方が業者によってばらつきがあったりするのではないかと思います。
	4. 指名競争入札（建設コンサルタント業務等）	
	【室生ダム電源設備検討業務】	
	・不落随契にした場合、一般的に1回目が不調になった場合、再度入札してから不落随契にいくが、1回目いきなり不落随契となるのか。	・当機構は、平成19年度から入札執行回数は1回としております。
5. 補償契約		
【竹の迫林道工事に伴う立木補償（大山ダム建設所）】		
	・借地料は今回の補償とは別	別途、契約しています。
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

財務部契約課長

小出 裕之（内線 2251）

技術管理室技術調査課長

星野 博（内線 4631）

用地部補償業務課長

田中 昇（内線 2331）